

## 英国 YWCA 声明: Black Lives Matter

私たちは、この大きな社会的変動の中であって、米国、英国ならびに世界中で明確な立場を表明した YWCA に連帯します。人種主義はある一国内にとどまるものではなく、今週末にロンドンでなされた行動は、多くの白人人種主義者が自分たちの観点が多数派に支持されているとどれほど固く信じているかを際立たせました。しかしそれは間違いです。

米国、英国、ならびに世界中で起きている、警察権力に割いている政府の資源を非白人コミュニティのための社会的・文化的・経済的サービスに充てるよう訴える平和的抗議運動を全面的に支持します。このような措置が、とうに行われるべきだったという言い方は、非白人コミュニティを常に資源への飢餓的状态に置いてきた構造的な人種主義に対するあまりにも過小な表現になるでしょう。私たちはまた、彼女・彼らにサービスを提供しその安全を守るべきはずの警察によって殺された黒人のトランス女性・女性・男性たちのために適正な裁きが実現されるよう求める訴えに声を合わせます。加えて、私たちは、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)流行のさなか、ロンドン・ビクトリア駅において第一線の業務にあたっていた際に唾を吐きかけられ、感染し死に至ったベリー・ムジンガさんのために適正な裁きを実現されるよう求めます。

英国 YWCA として、私たちは、英国の植民地主義の歴史とそれが遺した制度的な人種主義の遺産を認識しています。多くのコミュニティ、特に非白人コミュニティが、構造的な人種主義を実行し続ける英国の諸機関に対して憤り失望しています。現在も継続する排外的な移民政策は、カリブ海系のルーツを持つ英国市民をその生命や福祉を考慮せず国外退去させたウィンドラッシュ移民スキャンダルのような制度的な人種差別をもたらしました。制度的な人種主義は、社会・人生のすべての場面において非白人女性たちに影響を及ぼします。非白人女性は白人女性に比べて2倍の比率で逮捕・投獄され、黒人女性は非白人女性の5倍、アジア系女性は2倍の比率で出産の際に死亡し、白人女性が英国の大学で教授になる比率は黒人女性の3倍です。

YWCA はさまざまな意味で、帝国主義と植民地主義の帰結です。私たちの世界的運動は、宣教師と植民地運営者たちの移動によって広げられました。この歴史と切り離せない存在である YWCA として、人種主義の遺産である構造や行動様式を、反人種主義とインターセクショナルな正義に主軸をおいたものに置き換えるための行動をとることは私たちの責任です。今日英国において、構造的な人種主義が若い女性たちの可能性を狭める役割を果たしていることを私たちは認識しています。プログラム構築、ならびに最新のプログラムを発展させていく上で、私たちは、非白人の女性たちによって先導され、非白人の若い女性たちをエンパワーする団体と協働し投資するよう注意深く考えてきました。私たちは今後も、非白人女性のリーダーシップを強化し、反人種主義を進めるため、プログラムを通じて自分たちのかかわりと理解を深める方法を探るとともに、組織内でなされるべき作業について考え続けます。